

## ■10月例会 (株) ヤマト サポートセンター

◆企画：木村工機株式会社

◆日時：2018年10月11日(木) 15:00-17:00

◆場所：(株)ヤマト 「サポートセンター」  
群馬県前橋市下佐鳥町 1001-2

◆内容：

15:05~15:10 歓迎挨拶・・・ (株)ヤマト 鳥居部長

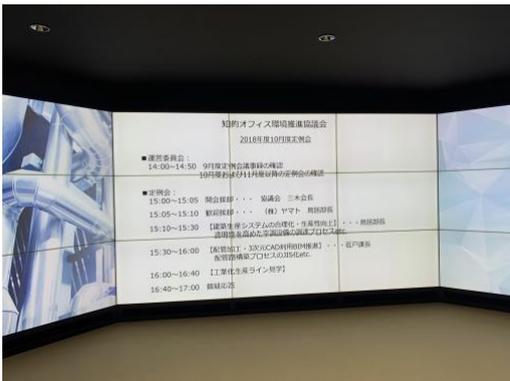
15:10~15:30 【建築生産システムの合理化・生産性向上】・・・鳥居部長  
透明性を高めた空調設備の調達プロセス etc.

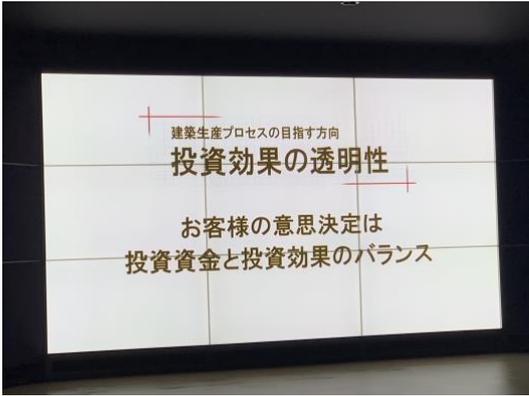
15:30~16:00 【配管加工・3次元CAD利用BIM推進】・・・荻戸(のぞきど)課長  
配管路構築プロセスのJIS化 etc.

16:00~16:40 【工業化生産ライン見学】

16:40~17:00 質疑応答

◆当日の写真







#### ◆開催関係者への礼状

株式会社ヤマト

企画推進部 部長 鳥居博恭様、課長 荏戸和之様

加工センター 部長 須永文男様

先日、10月11日には知的オフィス環境推進協議会の定例研究会を貴社において開催させて頂き、誠に有り難うございました。

また、大変貴重なお話を聞かせていただき、さらに技術の粋を集めた工場を見学させていただき、感謝申し上げます。

貴社は東京から新幹線で約50分、高崎駅から車で20分の場所ですので、当初計画した時には参加者は数名になるかもと心配しておりましたが、当日は結構多くの参加者があり、開催して良かったと思っております。貴社の皆様には格別のご高配を賜り、有り難うございました。また、企画していただいた木村工機株式会社の住田様にはお礼を申し上げます。

貴社の設備設計から施工までの一貫して自動化された環境で行う技術には驚きました。実物大の超大型画面での3DモデリングやCGにより、その場で設計者や施主との打ち合わせができ、細部の仕様まで設計段階で決めることができること、感動的でした。設備業者の方は常に最終段階まで細部の仕様が決まらず、その上、納期は守らねばならないとのことで、大きなロスタイムを抱えていたこと、また、かなりの仕事が現場あわせで進み、工場での生産ができなかったことも知りました。

そうした昔の流れを抜本的に改革し、設備のほとんどすべての詳細を最初の建物設計段階でコンピュータによる3DモデリングとCGで関係者全員が細部までの情報を共有し、電源

コンセントの位置や配管の細部のレイアウトに至るまでを最初に決め、配管部材を工場  
ロボットが製造（溶接や曲げ加工、フランジ加工や継ぎ手加工など）し、現地では組み立  
てるだけという作業となることは、設備業界においては革命的なことだと感じました。

しかしながら、そのためにはすべての設備部品の 3D データが必要であり、それが空調機  
メーカーや照明メーカーからもらえない場合には自社で作成したとのことや、自動加工機  
が無いときは自社で工作機械を作ったというご努力や熱意には、ただただ敬服するばかり  
です。ほとんどの部材を工場生産することで製品の信頼性が格段に向上し、しかも施工段  
階での現場あわせが無く、業者間のトラブルや、完成後に細部を変更するということも無  
くなり、見積額に透明性が出てきたことなど、大きな利点があると思います。BIM を最大  
限に使いこなすことで、設計から製造、施工までを一貫して行うことができる貴社の技術  
は世界に誇れるものと思う次第です。

当日は大変貴重なお話をいただき、秘密的な工場も拝見でき、参加者の皆様も大変有意義  
だったと思います。

今回の見学会に頂きました格別のご厚意に深く感謝を申し上げます。有り難うございま  
した。